事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画) 22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成											
事務事業名	県営炉 事業	田地帯	総合整備(担	い手育成型)	事業受益者	支援	マニフェスト 関連	全月	上 上横断 頁関連		集中改革プラン関連
∞△ 政 策	3	働く人	.々が輝き続い	けるまちづくり		所	属部 産業振			可徳	
総合 施 策	11	農業の	の振興			所	属課 農政課	!	担当者名	岡田	晃冶
体系基本事業	30	後継者	当の育成			所	属班 農業整	備班	(内線)	1163	
	会計	款	項 目 1 12	事業連番	<b></b> 上令根拠				成果優先月		•
	1	6		10279			単年度のみ		コスト削減優 操返(開始年		価結果 11 16 年度)
終了、開始年度	Ш	21年月	度で終了 [	22年度か	ら開始事	業期間		限定複数年度		~	年度)
★事務事業の概要											
【事業の内容】			一2件(JA系) 対用し農作物				いて支援を行	う。			
(開始した背景・											
きっかけ・今後の 状況変化を含む)											
WWZILE LIST	して古む)										
【業務の流れ】・堆肥センターの施設等の維持管理											
【主な予算費目】 6-1-12-11 需用費 6-1-12-12 役務費 6-1-12-27 公課費											
【意見や要望】 ・堆肥の販売量が追いつかず運営が軌道に乗っていない旨の相談があっている。											
関係者(住民、議 会、事業対象者、利											
害関係者等)からど											
んな意見や要望が 寄せられているか?											
1 現状把握の部(	DO P	I ANI)									
(1) 事務事業の目的	的と指	票						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
① 手段(主な活動 ・事業で導入した均	) 21年 年四共	F度実績	漬(21年度に	行った主な活	動)(DO) 珊			度に計画して! 〕堆肥センタ−			AN)
<ul><li>・堆肥センター運営</li></ul>			平門及 UXE1	の守りた1寸目	生	UA, E	100/17/7/70	7年元 ピンメー	连呂の又版		
<b>④</b> 活動指	煙(事務	事業の	活動量を表す	指標) = ①の指	: 煙	(24 (4)					\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
			係協議回数	10187 — (1007)		(単位) <b>回</b> イ	: :				(単位)
② 対象(誰、何を				や自然資源等			象指標(対象σ	大きさを表す指	盾標)=②の指	標	(単位)
・堆肥センター						$\Rightarrow$ $^{\mathcal{T}}$	堆肥受益農	家戸数			戸
② 辛回(>の事業	<i>lァ</i> ト _ ~	て、対も	<b>ちた</b> じら亦 うて	のか)		イ の母!	1 化插 (辛國 (	法出座なます	<b>七</b> 挿) _ ののせ		団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)						目標	(単位) トン				
						<i>⇒</i>	- E/IC/IX/70 - E				
*⑥成果指標設定					拠		i				
堆肥センターの運 ※21年度までは受					が整備而積/	′計画面積を	指標としていす	とが、22年度を	うらより達成り	度を表~	す堆肥販売量
を指標とする。	/١٠٤/	·				— штяс.	,	,   ////	- JON XEPAL		,
(2) 各指標•総事業	<b></b>		19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度	24年度	$\  \ ^{-}$	
の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	24年度 見込		
<ul><li>④ 活動指標</li></ul>	ア	回	100	50	40	40	40	40	40		
10 10 1907日1示	イ										
⑤ 対象指標	ア	戸	21	21	21	21	21	21	21	4/1	トータルコスト
	1 ア	トン	0	643	800	2560	3150	3150	3150	गुरुर	全体計画
⑥ 成果指標	<u>/</u> イ										~  年度
国庫支		千円									
財都道府県		千円		***************************************						<del>118</del>	
事  源   地方   内 その		千円 千円	51,724				<u>                                     </u>			間	
投業課無人		千円	01,724				<b></b>			限定	
一版		千円	51,724	24	976	516	762	727	727	複	
入費(A)事業		千円	103,448	24	976	516	762	727	727	数年	0
(A)のうち指		千円								度の	
単 (A)のうち時間		千円 人	1	1	1	1	1	1	1	4	
人		時間	750	750	750	415	750	750	750	記載	
費 (B)人件費		千円	2,978	3,000	2,985	1,652	2,985	2,985	2,985	÷×	0
トータルコスト(A	) _ (B)	千円	106.426	3.024	3.961	2.168	3.747	3.712	3.712	ı	0

県営畑地帯総合整備(担い手育成型)事業 受益者支援事業 所属部 産業振興部 所属課 農政課 事務事業名

2	評価の部(SEE) *原則は21年度の事後評価。たた	し複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中	評価					
	①21年度目標達成度評価							
目標達出								
成度	②22年度目標達成見込み	✓目標達成見込みあり ⇒【理由】 →	□目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 →					
評価		堆肥の販売促進への支援することにより、年	間販売量の増が見込まれる。					
	③成果の向上余地	☑向上余地がある ⇒【理由】 🖜	□向上余地がない ⇒【理由】・					
	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる 余地はあるか?成果が頭打ちになってないか	他県への販売区域の拡大						
玅	④類似事業との統廃合・連携の可 能性	<ul><li>一他に手段がある</li><li>(具体的な手段,事務事業)</li><li>一統廃合・連携ができる</li><li>→【理由】</li></ul>	☑他に手段がない ⇒【理由】 →					
一評価	目的を達成するには、この事務事業以外他	□統廃合・連携ができない ⇒【理由】  □						
ПЩ	に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?							
	//////////////////////////////////////	他に類似事業が無い。						
	⑤事業費の削減余地	□削減余地がある ⇒【理由】 🞝	✓削減余地がない ⇒【理由】 つ					
%率性評価	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費については、車両、施設等の耐用年数 余地はない。	<b>数を過ぎるまでは、市が費用負担するため、削減</b>					
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減 余地	□削減余地がある →【理由】 →	☑削減余地がない ⇒【理由】 🕠					
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でで きないか?(アウトソーシングなど)	堆肥センター運営に関する施策検討						
公平	⑦受益機会・費用負担の適正化 余地	□見直し余地がある ⇒【理由】 5	☑公平・公正である ⇒【理由】 →					
性評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公 平ではないか?受益者負担が公平・公正になっ	堆肥原料の持ち込みに係る受益者負担につ 正である。	いては、組合で定めたものであり、負担は公平公					
役割		□見直し余地がある ⇒【理由】 5	□役割分担は適正である ⇒【理由】 →					
分担評価	事務事業のやり方や手段においてこれまでの 行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体 に移行出来ないか?	将来的には、JA、バイオXが完全運営主体と	ならなければならない。					
3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入								
ペレット堆肥の販売強化、販売区域の拡大								
4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)								
(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (2) 改革・改善による期待成果 原止								
事業のやり方改善(効率性改善) コスト コスト								
┞	現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)							
	成機持							
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策								
^	ペレット堆肥の販売強化、販売区域の拡大 							